



ワークフロー例

- 1台のPro Dataで撮影現場でのカメラインジェスト、データ処理、編集をリアルタイムで同時に行うことができます。
- DITの係りが1台のホストコンピューターでカメラカードから映像データをインジェストする間、エディターは同じPro Dataを使用して、ビデオ素材をスクラブしながら編集、映像シーケンスを組み立てられます。必要に応じてもう1台のコンピューターでビデオファイルのトランスコードを同時進行できます。
- インジェスト用、編集用、トランスコード用の各ホストコンピューターは、それぞれ任意の距離で、例えば50m長の光ケーブル等を用いてPro Dataへ接続することで、DITがカメラマンからカードの受け渡しを行ったり、カードリーダーを設置するスペースが確保できます。

